

## 平成30年度で実施した主な事業（一般会計）

### みんなに優しいまちづくり

#### 保育所の運営に要した経費 1億7,431万9千円

町立の保育所や私立保育所、認定こども園の運営に使用しました。



#### 新しい保育所（こども園）の建設に要した経費 7,301万8千円

新しい保育所（こども園）の用地購入費用や設計業務などに使用しました。

#### ぬくもりふれあいセンターの改修に要した経費 4,460万8千円

ぬくもりふれあいセンターの改修工事に使用しました。

### 安心安全のまちづくり

#### 栖原ポンプ場の改築に要した経費 1億4,661万9千円

栖原区にあるポンプ場の改築に向け、用地購入や設計業務、雨水管渠の詳細設計などに使用しました。



#### 道路や橋の改良に要した経費 1億1,677万2千円

町道各所の道路改良工事や側溝改修、また飛越橋や宮後橋などの橋梁改修工事に使用しました。

#### 子ども医療に要した経費 3,412万9千円

乳幼児から中学生までの医療費に要した経費（町独自で小学1年生から中学3年生まで助成）※令和元年度より18歳までの医療費は無償となっています。

### 賑わいのあるまちづくり

#### 湯浅駅周辺整備事業に要した経費 1億2,446万7千円

駅前の複合ビルの建設工事、またJR湯浅駅バリアフリー化工事等の設計業務の負担金などに使用しました。



#### 旧栖原家改修に要した経費 6,596万5千円

醤油醸造を行っていた主屋や蔵の改修に使用しました。

#### 湯浅城跡の発掘調査に要した経費 538万4千円

湯浅城跡の歴史的価値を明らかにするための調査に使用しました。

### 地場産業を活かしたまちづくり

#### ふるさと納税にかかる経費 30億2636万円

ふるさと納税推進のためポータルサイトでの業務委託などに使用しました。



#### 湯浅町「一気通貫」産直加工流通加速化センター建設に要した経費 6億9,484万7千円

特産品の開発・加工・販売を行う産直加工流通加速化センターの建設に使用しました。

#### 漁港機能の保全に要した経費 2,680万円

栖原漁港施設の岸壁や物揚場などの改修、また、田村漁港海岸施設の長寿命化計画作成に使用しました。

### 湯浅町の普通会計及び公営事業会計

(単位：千円)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	翌年度に繰り越すべき財源	実質収支
一般会計	12,372,676	11,748,827	320,689	303,160
同和对策住宅新築資金等特別会計	60,936	181,732		▲120,796
(会計・年度間のやりとり)	▲194,391	▲194,391		0
普通会計の計 A	12,239,221	11,736,168	320,689	182,364
国民健康保険事業特別会計	1,711,737	1,709,254		2,483
介護保険事業特別会計	1,368,396	1,289,947		78,449
後期高齢者医療特別会計	164,479	163,329		1,150
公営企業会計				
農業集落排水事業特別会計	37,259	37,259		0
駐車場事業特別会計	101,107	147,258		▲46,151
水道事業会計	257,275	222,066		35,209
資本的収支	100,313	157,487		▲57,174
公営事業会計の計 B	3,740,566	3,726,600	0	13,966
合計 (A + B)	15,979,787	15,462,768	320,689	196,330

### 用語説明

**義務的経費**…支出が義務付けられている人件費、扶助費、公債費のことです。この経費の占める割合が高くなるほど硬直した財政運営となります。

**投資的経費**…施設の建設費など、将来にこの資本形成のための経費です。(普通建設事業費・災害復旧事業費など)

**その他の経費**…上記以外の経費です。(物件費・維持補修費・繰出金・補助費など)

**地方交付税**…全ての地方公共団体が税収入の差に関係なく、等しく標準的な事務を行うことができるよう、国が一定の基準で交付するお金です。

**国庫支出金・県支出金**…特定の事業を行うために、国や県から交付されたお金です。

**町債**…特定の事業を行うために、国や金融機関より借り入れたお金です。

**譲与税・交付金**…地方譲与税、地方消費税など便宜上国が徴収した税金から譲与・交付されたお金です。

### 普通会計のうち

※平成31年3月31日の人口(12,021人)で計算しています。

1人当たりの町税負担額……………9万3千円  
1人当りに使われたお金……………97万6千円  
1人当たりの借入残高……………71万8千円  
1人当たりの貯蓄残高……………33万円

# 平成30年度 決算報告

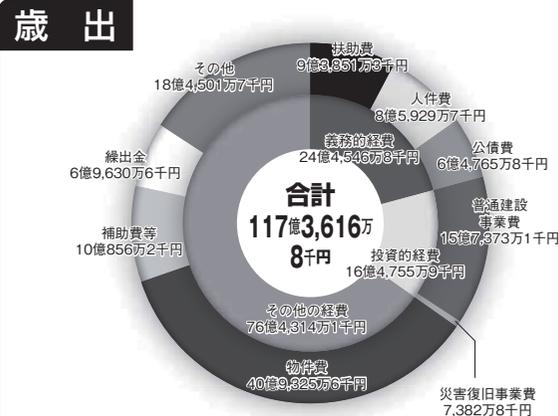
決算は町にどれだけのお金が入り、どのような事業にお金を使ったかを表すものです。

町の会計は、大きく分けて一般会計と特別会計に分かれています。市町村によって設置している会計は異なるため、他の市町村と決算を比較するときには、一般会計と一部の特別会計（湯浅町では、同和对策住宅新築資金等特別会計）を合わせた「普通会計」と呼ばれる会計で比較します。

平成30年度普通会計決算は、1億8,236万4千円の黒字となりました。昨年度と比較して、歳入は10億6,772万5千円の増、歳出は9億2,322万4千円の増と

なっています。また、平成30年度末地方債残高は、86億3,927万1千円となり、基金残高については、財政調整基金が4億6,079万円、減債基金が1億1,155万8千円、ふるさとまちづくり基金を含む、その他特定目的基金が34億9,855万4千円となっています。

令和元年度以降も湯浅駅周辺整備事業や栖原ポンプ場改築事業、保育所（こども園）建設事業など様々な事業を進めていきます。町行政と議会が一丸となって、将来に過度な負担とならないよう、安心安全なまちづくりに取り組んでいきますので、引き続きご理解とご協力をよろしくお願い致します。



### ★標準財政規模とは

町の標準的な一般財源（使途が決まられていない財源）の規模を表しています。

H30年度 34億3,670万3千円  
(H29年度 34億5,403万3千円)

### ★実質赤字比率とは

標準財政規模に対する普通会計の赤字額の割合を示す比率

15%以上…早期健全化団体へ  
20%以上…財政再生団体へ

H30年度 なし (H29年度 なし)

### ★連結実質赤字比率とは

標準財政規模に対する普通会計及び公営事業会計の赤字額の割合を示す比率

20%以上…早期健全化団体へ  
30%以上…財政再生団体へ

H30年度 なし (H29年度 なし)

### ★実質公債費比率とは

借金返済の負担の度合いを示す比率。一定以上になると地方債の発行が制限されます。

25%以上…早期健全化団体へ  
35%以上…財政再生団体へ

H30年度 9.9% (H29年度 9.7%)

### ★将来負担比率とは

標準財政規模に対するすべての会計、一部事務組合等の将来負担する実質的な負債の割合を示す比率

350%以上…早期健全化団体へ

H30年度 5.6% (H29年度 48.8%)

### ★資金不足比率とは

公営企業の経営状況を判断する比率。

20%以上…公営企業の経営健全化計画を作成し、議会の議決を得なければなりません。

H30年度 なし (H29年度 なし)